

- 1949年 戦前からサイドカーレースが行われていたイギリスに於いてワトソニアンサイドカーがロードレースワールドサイドカーチャンピオンシップ優勝。オートバイは、ノートンインターナショナルを使用しドライバーは、エリック オリバーであった。エリックは、その後4回このタイトルを獲得する。この栄光は、カタログの中にも表現されている。



中 ロンワトソン 右 エリック

- 1950年 この年にワトソニアン1000ccVツインというプロットタイプが発表される。戦後、ブラフシュペリアなき後、なくなってしまったサイドカー用Vツインモデルを作る事でサイドカー量産をもくろみ計画された。設計は、ワトソニアン社のロン ワトソン、レーサーのエリック オリバー、他1名で行われた。996ccオールアルミ製JAPエンジンは、サイドバルブで35BHP程度でありミッションは、バーマンの4速であった。サイドカー仕様としてリヤとサイドカーブレーキは、油圧の連動となっている。サイドカーボディは、後にモナコとなるもので前後セクションがグラスファイバー製である。また中央部は、ボディの中にフレームがあるモノコック構造になっていた。この構造は、後にワスプ社がスポーツモデルで取り入れる。すばらしいモデルであったが幾つかの問題があり、この計画は、頓挫した。このプロットタイプは、バーミンガムのナショナルモーターサイクルミュージアムにて見ることができる。



SPECIFICATION:	
Engine	996cc all-alloy JAP side-valve 50 degree vee-twin, 35 bhp (approx). Coil ignition, AC Generator housed in timing side of engine. Dry sump lubrication supplied from 1 'A' gallon oil tank.
Transmission	Primary chain in oil bath to Burman 4 speed gearbox.
Frame	All welded tubular duplex cradle frame with reinforced steering head and integral 4-point sidecar fittings. Plunger type rear suspension and Dunlop front forks with rubber cartridge springing. 5 1/2 gallon fuel tank. 9" diameter twin leading shoe brakes front and rear.
Sidecar	Watsonian 'Monaco'
MANUFACTURER	
Watsonian Sidecars Ltd., Albion Road, Greet, Birmingham 11.	

- 1951年 昨年イギリスに於いて販売店は、37店であったが、この年には、84店となり絶頂期を迎える。



- 1954年 この年のカタログを見ると乗用は、7種、貨物は、3種、シャーシーは、3種となる。プロットタイプだったモナコをフラッグシップモデルとして販売。普通のサイドカーの2倍の価格だった。



2010年 入手したモナコ 現存するのは数台であろう 現在イギリスにてレストア中

スクーター用の小型のバンピーナもグラスファイバーで製作される。グラスファイバーの技術は、すでに持っており戦後ランドローバー社の部品をグラスファイバーで作っていた実績があった。



- 1955年 イギリスのサイドカー台数16万台。そのうち50%がワトソニアン製であった。サイドカーメーカーの中で強力な力を持っていくワトソニアン社は、多くの競争相手の吸収合併を進めていく。その中にスワローサイドカーがあり、スワローサイドカーの権利を売った会社は、その後、ジャガー社となった。

- 1959年 この年のカタログを見ると乗用11種、シャーシーは、1種、貨物用は、すでに無くなっている